

令和6年度（第2期）

定時社員総会

— 議案 —

令和6年5月25日(土) 14:00～

大阪公立大学・学術情報総合センター 10階 大会議室

令和6年度（第2期）

定時社員総会

- 1 講演会（14：00～14：50）
〈講師〉 中西信治・御菓子司 吉乃屋松原店主
演題「私の半世紀」
- 2 議案審議（15：00～16：30）
議案第1号 令和5年度活動報告承認の件・・・・・・・・・・ 1頁
議案第2号 令和5年度決算報告承認の件・・・・・・・・・・ 7頁
－ 監査報告 －
議案第3号 令和6年度活動計画案承認の件・・・・・・・・・・ 13頁
議案第4号 令和6年度正味財産増減計算書予算案承認の件
・・・・・・・・・・・・・・・・ 16頁
議案第5号 役員の一部改選の件・・・・・・・・・・・・・・・・ 18頁
- 3 懇親会（16：45～18：00）
於：大阪公立大学・学術情報総合センター 10階 研究者交流室

一般社団法人有恒会

令和5年度 活動報告

一般社団法人有恒会の令和5年8月1日から令和6年3月31日までの本会活動内容・活動成果全般について報告する。

1. 会員の状況（令和6年3月31日現在）

- (1) 会員総数（連絡先不明者を含む）・・・・・・・・・・54,572名（前年53,655名）
 (2) 会員数（連絡可能者）内訳

連絡可能者（正会員）			
	人数(名)	構成比(%)	対前年差(名)
旧制大阪高商・商学部・高商部 卒業の会員 (前年1,045名)	1,038	3.0	△7
市大の商・経・法・文学部 卒業の会員 (前年33,522名)	33,812	96.1	290
他学部会員 (前年125名)	332	0.9	207
連絡可能者 合計 (前年34,692名)	35,182	100.0	490

(注) 物故者連絡35名（前年31名）

(注) 大阪公立大学有恒会の令和4年度実績に対して、大阪公立大学有恒会の令和5年4/1～7/31の実績と一般社団法人有恒会の令和5年度実績（8/1～令和6年3/31）までの合算数値との比較で記載している。

2. 令和5年度活動の状況

(1) 総務部会関係

1) 一般社団法人化

令和5年5月27日開催の定期総会で一般社団法人化方針を決議し、6月19日に所定の手続きを経て登記を完了。8月1日より一般社団法人として活動を開始した。

2) 有恒会（任意団体）解散総会の開催

9月22日（金）、リモートにより開催し、令和5年度（対象期間：令和5年4月1日～7月31日）活動報告と決算について承認された。事業、財産、債権は全て一般社団法人有恒会が継承し活動を継続している。

（参考・・・4/1～7/31の活動状況）

定期総会：5月27日（土）、対面+リモート

海外支部ブロック会議：5月23日（火）

支部総会の開催：三重（4月22日）、京滋（6月3日）、奈良（6月4日）、湘南（6月10日）、愛媛（7月1日）、南大阪（7月15日）、横浜（7月22日）、大阪南（7月22日）

大阪市立大学全学同窓会総会：5月27日（土）

大阪公立大学校友会総会：6月10日（土）

3) 一般社団法人有恒会・第1回社員総会の開催

社員総会開催に先立ち、定款に基づいて代議員制度を立ち上げた。

11月27日（土）、リモートにて第1回社員総会を開催した。代議員73名のうち66名が出席（20名の議決権行使書を含む）し、第1号議案：活動計画、第2号議案：予算案（対象期間はいずれも令和5年8月1日～令和6年3月31日）、並びに第3号議案：定款に関する諸規程（入退会規程、会費規程）が可決承認された。

4) 支部代表者会議の開催

令和6年3月9日（土）、学術情報総合センター・1階の文化交流室で対面にて開催した。全国27支部、1ブロックの代表、また大学、校友会からも出席を得て、各支部から現況報告のほか、支部の要望を含めて情報交換を行った。有恒会が主催する今回のような形

は見直しの時期に来ており、来年度以降はその役割を校友会に担ってもらう方向となる。
総会後は、野のはなハウスにて懇親会を開催した。

5) 支部総会の開催

以下の通り各地で支部等の総会が開催され、大学及び有恒会本部から関係者が出席し交流を深めた。

姫路しらすぎ（8月26日）、神戸（9月16日）、福岡（9月16日）、東京（10月21日）、
鹿児島（10月28日）、北摂（11月12日）、富山（11月18日）、湘南（11月18日）、広島（11月
25日）、東北（11月26日）、静岡（11月26日）、柳光会（12月1日）、宝塚（12月2日）、
千葉（令和6年3月2日）

6) 一般社団法人としての体制整備

新たにスタートした一般社団法人としての組織体制の整備と諸規程の整備・更新に着手した。体制については、総務部会と財務部会を統合し総務財務部会に、広報部会と会員部会を統合し広報会員部会に、会報誌「有恒」の編集と発行を有恒編集委員会として独立させた。事業部会は変更なし。組織図をホームページで公開し、各種諸規程は所定の手続きを経て新体制に見合ったものに順次更新する。

7) 通信費支援

会員増加活動を積極的に行う支部に対し、通信費を中心に13支部に対して総額約100万円の支援を行った。

8) ホームカミングデー

ビジネスコンテスト・有恒会賞として5万円の表彰を行った。

(2) 財務部会関係

1) 会費納入の状況

令和5年8月1日から令和6年3月31日までの会費収入額、人数、および入金手段の内訳は以下の通りとなった。

・正会員（卒業生）会費

1. ゆうちょ銀行取り扱い	1,515,000円	303名
2. コンビニ取り扱い	660,000円	132名
3. 銀行振込	275,000円	55名
4. 現金	15,000円	3名
5. 令和5年度卒業生会員分の振替	1,290,000円	258名
合 計	3,755,000円	751名

・準会員（令和5年度新入生ほか）会費

1. 令和3年度入学者	10,000円	1名
2. 令和5年度新入生	7,320,000円	732名
合 計	7,330,000円	733名

会費収入合計は、11,085千円となり予算対比1,505千円増となった。

内訳は、正会員からの会費3,755千円、準会員会費7,330千円となっている。

なお本年、正会員からの会費のうち大阪府立大学卒業の会員から208名、1,040千円の会費を頂いている。

一方、既存の会員（大阪市立大学卒業会員）からの会費は減少傾向に歯止めをかけることができなかった。

次年度の課題も新規会員の会費納入促進と、大阪府立大学卒業の会員からの会費維持、拡大に置き、支部総会などの各イベントでの積極的な働きかけを実施したい。

また準会員会費（新入生会員）は、前年度からの会費納入案内方法の変更により今年度も会費納入率が70%を超えており、在学生支援をいっそう充実させ、維持を図りたい。

※ご参考 大阪公立大学有恒会と一般社団法人有恒会との通期比較

参考資料は、大阪公立大学有恒会の令和4年度会費納入実績と大阪公立大学有恒会の令和

5年4月1日から7月31日までの会費納入実績、及び一般社団法人有恒会の令和5年度の会費納入実績の合算数値との比較です。

令和5年度（2023年）

【会費納入の状況】

	納入者数 (名)	納入率 (%)	前年差 (数)	前年差 (率)
正会員納入者合計（前年 3,504名）	3,545	10.1	41	0.0

（納入者には終身会費納入者で収入勘定振替完了者172名を含む。）

<旧制、市大別内訳>

商学部・高商卒（前年 40名）	37	3.6	△ 3	△ 0.2
市大卒（前年 3,441名）	3,278	9.7	△ 163	△ 0.6
他学部（教員含）（前年 23名）	230	69.3	207	50.9

<卒業年代別内訳>

商学部・高商卒（前年 40名）	37	3.6	△ 3	△ 0.2
昭28～39卒（前年 456名）	392	12.3	△ 64	△ 1.8
昭40～49卒（前年 587名）	548	14.0	△ 39	△ 0.9
昭50～59卒（前年 586名）	561	13.6	△ 25	△ 0.5
昭60～平06卒（前年 306名）	295	7.0	△ 11	△ 0.2
平07～16卒（前年 99名）	92	1.9	△ 7	△ 0.1
平17～26卒（前年 71名）	62	0.9	△ 9	△ 0.1
平27～令04卒（前年 1,336名）	1,328	20.1	△ 8	△ 2.1

（卒業年代別内訳には他学部納入者は含まれていない）

令和5年度会員、会費実績（）内前年実績、前年対比

正会員 3,373名	(3,329名 101.3%)	16,865千円	(16,645千円 101.3%)
準会員 734名	(686名 107.0%)	7,340千円	(6,860千円 107.0%)
計 4,107名	(4,015名 102.3%)	24,205千円	(23,505千円 103.0%)

会費収入は、前年同期比、3.0%の増となった。会費収入の内訳では正会員（卒業生会員）が前年比1.3%、及び準会員会費（新入生会費）が7.0%それぞれ増加した。しかし、正会員会費（卒業生会員）の前年同期比増は、大阪府立大学卒業の会員のからの新規納入（新規会費納入者208名）によるものであり、大阪市立大学卒業生会員会費収入は今年度も高齢会員を中心に自主的な退会等が多く、会費納入者は大幅に減少した。（前年同期比で164名減少）

【会費納入促進活動】

- ・有恒会費未納入者への納入依頼を継続実施。（会報誌送付他）
- ・令和5年4月入学者で会費納入者に記念品進呈
- ・令和5年4月卒業生に対し、会費納入依頼の基礎となる連絡先の把握、名簿整理推進
- ・各支部総会へ積極参加し会費未納会員へのアプローチを実施
- ・有恒会総会、支部代表者会議等の場で会費未納会員へのアプローチを実施

(3) 事業部会関係

「会員相互の親睦」と「現役学生との交流」の2つの柱で活動を行った。

1) 会員相互の親睦と交流

(ア) ビジネス交流会（第一回目）

開催日時：令和5年7月29日(土) 13:00~16:30

場所：メディックスビル6階ホール 開催方式：対面&リモート

第一部：講演・橋本英郎氏(市大・経・2003年卒)元Jリーガー日本代表

第二部：グループ交流会

現役学生から70歳台まで、対面40名、リモート10名、市大、府大、大阪女子大の同窓生が参加した。

(イ) ビジネス交流会(第二回目)

開催日時：令和6年1月27日(土)

場所：メディックスビル6階ホール 開催方式：対面&リモート

第一部：講演・湯浅明彦氏(市大・商・1998年卒) SUN-TV アナウンス部部长

第二部：グループ交流会

現役学生から70歳台まで、対面30名、リモート4名、市大、府大、大阪女子大の同窓生が参加した。

(ウ) 校友懇話会(陵友会支部主催)

開催日時：令和5年9月13日(水) 18:30~20:30

場所：ガーデンシティクラブ大阪 開催方式：対面

講演：講師に理学研究科の三田村宗樹先生を招き大阪の地質、地層分布、地震との関係などについて講演頂いた。

参加者：約30名

(エ) WPC女性部会の活動を応援

・6月17日に定期総会と「河内ワイナリー見学会」を開催、参加者は25名。両大学の卒業生が参加。

・10月28日に本年度2回目の交流会を開催し、24名が参加した。

2) 卒業生と現役学生との交流会

(ア) 公務員OBOGと公務員志望現役学生の交流会

開催日時：令和5年6月4日(土) 13:00~17:00

場所：高原記念館

公務員として勤務する卒業生13名、大学関係者3名、現役学生(市大、府大、公大)45名、同窓会関係者を含めて70名を超えるイベントになった。

グループに分かれての交流会の後、茶会形式で懇親会を行った。

(イ) 民間企業に勤める卒業生と現役学生との交流会

開催日時：令和5年11月25日(土) 13:00~17:30

場所：高原記念館 開催方式：対面&リモート

民間企業に勤める卒業生16名(=16社)、大学関係者3名、現役学生(市、府、公)35名、同窓会関係者を含めて計60名が参加。卒業生のうち2名はインド、シンガポールからリモートで参加した。小グループに分かれての交流会を3セッション行ったあと茶会形式で懇親会を開催した。

(ウ) 教員OBOGと現役学生との交流会

開催日時：令和5年12月23日(土) 13:00~16:00

場所：田中記念館会議室 開催方式：対面&リモート

卒業生5名、学生1名、同窓会2名が参加。

学生の参加が少なかったが、教育現場の環境や課題について教員同士の貴重な意見交換の場となった。

(エ) 留学生支援

卒業生を含め留学生と日本人学生との交流会を検討したが、実現に至らなかった。

(4) 広報会員部会活動報告

1) 広報(Webメディア)関係

10月から会報誌「有恒」の編集発行とWebメディアを通じた広報に分割した。広報会員部会では、ホームページ(HP)やSNSなどのWebメディアを通じた広報活動を強化するため、情報発信体制の構築と人材の登用を行った。

(ア) HPのカテゴリーの整理、ページの見直し、コンテンツの充実を図るなど、大幅な刷新に着手した。

- (イ) Webメディアに精通している学生アルバイトを採用し、ベンダーと協力してHP刷新に取り組む体制づくりを行った。
- (ウ) 1月からHPにクラブ活動やキャンパスの様子など、大学のHPと一線を画すOBOGの興味関心がありそうな情報を学生目線で投稿し始めた。

2) 会員部会関係

(ア) ゼミを通じた有恒会の認知度向上

市大以外の出身者が3/4を占めるゼミ・研究室の教員46名に対し、有恒会の説明と卒業生に対する最新情報への更新を依頼した。

(イ) 支部支援

東京・愛知・奈良・神戸・鹿児島支部を対象に、支部会員増強企画の第2弾を実施し、一定の成果をあげた。

これまで支部の連絡先が責任者個人のメールアドレスであったため公開できなかったが、Webメールの採用によりHPに掲載できるようになった。Webメール設定により、責任者が交代してもメールアドレスの変更を必要としなくなり、支部への連絡の利便性を高めることができた。

(ウ) 終身会員制度の導入提案

卒業後の正会員減少に対する施策として、終身会員制度の導入を提案し検討することになった。

(5) 有恒編集委員会活動報告

大阪公立大学開学2年目を迎えた2023（令和5）年4月には大阪公立大学同窓会会報誌「有恒25号」を発行、巻頭特集には「舞い上がれ！大阪公立大学 堺・風車の会 WindMill Club」を取り上げ、中百舌鳥キャンパスを拠点に「鳥人間コンテスト」で7度目の優勝を目指す学生たちの果敢な姿を紹介した。

また4人の「世界に通じるプロフェッサー」を引き続き掲載、同窓生の企業のトップや社会で活躍するOBOG、平成の卒業生や現役生を交えた「新しい時代の同窓会像を探る」をテーマに座談会も載せたほか、8人の卒業生の思い出や13本の「学園だより」、理学部、生活科学部を含めた12本の「同窓会ニュース」、全国10支部から寄せられた「支部だより」など多彩な内容になった。

さらに10月には「有恒26号」を発行、巻頭特集には世界大学ランキング200位以内を目指す大阪公立大学の国際的な取り組みを福島伸一・公立大学法人大阪理事長のインタビューも交えて詳細に掲載、引き続き「世界に通じるプロフェッサー」や社長、OBOG紹介や20本の「学園だより」、海外も含め全国12支部から寄せられた「支部だより」などのほか、今号から「陵友会通信」のコーナーも創設、「論壇随想」や「同窓短信」「会員ひろば」など読みごたえのある内容となった。

3. 正味財産の状況

(1) 経常収益

- ・「会費収入」は合計11,085千円となった。

内訳は正会員（卒業生）会費3,755千円、及び準会員（令和5年度新入生ほか）会費7,330千円となっており、予算対比1,505千円の増収となった。

前述のとおり正会員からの会費のうち大阪府立大学卒業の会員から208名、1,040千円の会費収入があり次年度以降も維持、拡大に注力したい。

- ・「会報広告料収入」は1,405千円となり予算対比25千円の増収となった。
新たな一般社団法人有恒会としての会報誌にも、27社・事務所様より広告を頂いた。
- ・「雑収入」は225千円となり、予算対比125千円増収となった。
- ・「寄附金収入」、「利息・配当収入」予算はわずかではあるが未達成であった。
- ・「経常収益合計」は12,720千円となり、予算対比1,649千円の増収となった。

(2) 経常費用

- ・会報発行費は4,776千円となり予算対比では1,240千円の減少となった。

予算対比減の主な要因は、令和5年度10月号「有恒26号」も前号と同様に、理学部同窓会様、及び生活科学部同窓会様より会報の発行に賛同を頂いており、印刷費の一部を負担し

て頂いたことによる。

- ・「行事費」は4,093千円となり、予算対比では2,325千円減少した。
一般社団法人有恒会として令和5年度は、コロナ禍後の活発化を想定した在学生、大学、支部等の活動支援強化を計画したが、支部支援強化以外は実施には至らなかった。
 - ・「管理費」合計は8,477千円となり、予算対比では693千円の減少となった。
一般社団法人としての新たな備品購入を予算化したが、実施の本格化は次年度に持越すことになる。
 - ・「経常費用合計」は17,346千円となり、予算対比では4,858千円減少した。
- (3)「正味財産額」は4,626千円減少し「正味財産期首残高」83,180千円を加算して「正味財産期末残高」は78,554千円となった。

※ご参考

大阪公立大学有恒会の令和4年度実績と大阪公立大学有恒会の令和5年4月1日から令和5年7月31日までの実績、及び一般社団法人有恒会の令和5年度実績の合算数値との比較で報告いたします。

1) 経常収益

- ・「会費収入」の令和5年度通期合計24,205千円は、前年対比では700千円の増収となった。
会費収入の前年対比増の内訳は、正会員（卒業生）会費220千円、準会員会費（新入生会費）480千円となっている。
正会員（卒業生）会費収入に関しては、【会費納入の状況】での報告の通り、市大卒業生会員からの会費収入減少対策が急務となっている。
- ・「会報広告料収入」は2,825千円となり前年対比では1,150千円の増収となった。
今年度の会報誌発行が2回となったことが要因である。
- ・「寄附金収入」は、4千円の実績があったが、前年度には大口の寄附金があったため、前年対比589千円の減収となった。
- ・「雑収入」は、225千円となり、前年対比44千円の増収となった。
- ・「経常収益合計」は27,263千円となり、前年対比1,305千円の増収となった。

2) 経常費用

- ・会報発行費は8,559千円となり、前年対比で3,529千円の増加となった。
対前年度増加要因は、令和4年度の会報発行が1回「有恒24号」に対して、今年度は2回発行したことによるものである。
有恒会の活動経費のなかで、会報発行に係る経費（印刷・編集・発送）が占める割合が高く、次年度以降削減の検討が必要と考えられる。
- ・「行事費」は4,926円となり、前年対比で826千円増加した。
令和5年度の主な活動実績は、在学生支援（令和5年度新入生に対する記念品作成・郵送）、支部支援、支部代表者会議、有恒会総会の開催等となった。
また、当初の活動計画より未実施のものがああり、今後の活動計画作成に課題が残った。
- ・「管理費」合計は14,904千円となり、前年対比1,337千円増となった。
対前年度増加要因は、人件費で令和6年1月より事務局人員1名増、物件費では今年度より全国支部の総会が復活したことによる出張旅費の増加である。
- ・「経常費用合計」は28,389千円となり、前年対比では5,693千円増加した。

- 3)「正味財産額」は1,126千円減少し「正味財産期首残高」79,680千円を加算して「正味財産期末残高」は78,554千円となった。

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	期首	対期首増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	786	69,143	△ 68,357
預金	99,959,417	95,887,358	4,072,059
貯蔵品	115	115	0
未収金	25,000	223,550	△ 198,550
流動資産合計	99,985,318	96,180,166	3,805,152
2 固定資産			
基本財産			
基本金引当金融資産	25,000,000	25,000,000	0
基本財産合計	25,000,000	25,000,000	0
その他の固定資産			
備品	4,209,553	4,209,553	0
備品減価償却累計額	△ 4,209,553	△ 4,209,553	0
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	25,000,000	25,000,000	0
資産合計	124,985,318	121,180,166	3,805,152
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	46,833	94,178	△ 47,345
準会員前受会費	29,087,500	25,945,000	3,142,500
終身会費前受金	4,625,000	4,150,000	475,000
前受会費	255,000	20,000	235,000
5年分前受会費	12,411,000	7,731,000	4,680,000
社会保険料預り金	5,881	0	5,881
預り金	0	60,000	△ 60,000
流動負債合計	46,431,214	38,000,178	8,431,036
負債合計	46,431,214	38,000,178	8,431,036
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産	78,554,104	83,179,988	△ 4,625,884
(うち基本金)	25,000,000	25,000,000	0
(うち当期正味財産増加額)	△ 4,625,884	3,500,141	△ 8,126,025
負債及び正味財産合計	124,985,318	121,180,166	3,805,152

ご参考

貸借対照表

令和6年3月31日現在

参考資料は、大阪公立大学有恒会の令和5年3月31日現在残高と、一般社団法人有恒会の令和6年3月31日現在残高を比較しております。

(単位：円)

科 目	当年度	期首	対期首増減	前年度 令和5年3月31日現在	対前年度増減
I 資産の部					
1 流動資産					
現金	786	69,143	△ 68,357	3,577	△ 2,791
預金	99,959,417	95,887,358	4,072,059	97,917,855	2,041,562
貯蔵品	115	115	0	115	0
未収金	25,000	223,550	△ 198,550	40,000	△ 15,000
流動資産合計	99,985,318	96,180,166	3,805,152	97,961,547	2,023,771
2 固定資産					
基本財産					
基本金引当金融資産	25,000,000	25,000,000	0	25,000,000	0
基本財産合計	25,000,000	25,000,000	0	25,000,000	0
その他の固定資産					
備品	4,209,553	4,209,553	0	4,209,553	0
備品減価償却累計額	△ 4,209,553	△ 4,209,553	0	△ 4,209,553	0
その他の固定資産合計	0	0	0	0	0
固定資産合計	25,000,000	25,000,000	0	25,000,000	0
資産合計	124,985,318	121,180,166	3,805,152	122,961,547	2,023,771
II 負債の部					
1 流動負債					
未払金	46,833	94,178	△ 47,345	43,700	3,133
準会員前受会費	29,087,500	25,945,000	3,142,500	25,922,500	3,165,000
終身会費前受金	4,625,000	4,150,000	475,000	4,660,000	△ 35,000
前受会費	255,000	20,000	235,000	65,000	190,000
5年分前受会費	12,411,000	7,731,000	4,680,000	12,550,500	△ 139,500
社会保険料預り金	5,881	0	5,881	0	5,881
預り金	0	60,000	△ 60,000	40,000	△ 40,000
流動負債合計	46,431,214	38,000,178	8,431,036	43,281,700	3,149,514
負債合計	46,431,214	38,000,178	8,431,036	43,281,700	3,149,514
III 正味財産の部					
1 指定正味財産	0	0	0	0	0
2 一般正味財産	78,554,104	83,179,988	△ 4,625,884	79,679,847	△ 1,125,743
(うち基本金)	25,000,000	25,000,000	0	25,000,000	0
(うち当期正味財産増加額)	△ 4,625,884	3,500,141	△ 8,126,044	1,537,825	△ 6,163,728
負債及び正味財産合計	124,985,318	121,180,166	3,805,152	122,961,547	2,023,771

正味財産増減計算書

令和5年8月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額a	決算額 b	差異 (b-a)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1)経常収益				
① 会費収入	9,580,000	11,085,000	1,505,000	
② 利息・配当金	1,270	1,137	△ 133	
③ 広告料収入	1,380,000	1,405,000	25,000	
④ 雑収入	100,000	225,110	125,110	
⑤ 寄附金	10,000	3,700	△ 6,300	
経常収益計	11,071,270	12,719,947	1,648,677	
(2)経常費用				
① 会報発行費	6,016,000	4,775,727	△ 1,240,273	
② 行事費	6,418,000	4,093,316	△ 2,324,684	
③ 管理費	9,170,000	8,476,788	△ 693,212	
(人件費)	4,082,000	3,978,758	△ 103,242	
(物件費)	5,088,000	4,498,030	△ 589,970	
④ 減価償却費	0	0	0	
貯蔵品売却原価	0	0	0	
⑤ 貯蔵品廃棄損	0	0	0	
⑥ 予備費	600,000	0	△ 600,000	
経常費用計	22,204,000	17,345,831	△ 4,858,169	
当期経常増減額	△ 11,132,730	△ 4,625,884	6,506,846	
2 経常外増減の部				
(1)経常外収益	0	0	0	
(2)経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 11,132,730	△ 4,625,884	6,506,846	
一般正味財産期首残高	83,179,988	83,179,988	0	
一般正味財産期末残高	72,047,258	78,554,104	6,506,846	
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	
III 正味財産期末残高	72,047,258	78,554,104	6,506,846	

ご参考

正味財産増減計算書

参考資料は、大阪公立大学有恒会の令和5年度当初予算額(a)、及び令和4年度決算額(c)と大阪公立大学有恒会の令和5年4月1日から7月31日までの決算額、及び一般社団法人有恒会の令和5年度決算額の合算数値(通期合計決算額b)とを比較しております。

(単位：円)

科 目	公立大有恒会 当初予算額a	通期合計 決算額 b	当初予算 差異 (b-a)	公立大有恒会 前年実績c	前年実績 差異 (b-c)
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1)経常収益					
① 会費収入	22,700,000	24,205,000	1,505,000	23,505,000	700,000
② 利息・配当金	4,800	4,674	△ 126	4,665	9
③ 広告料収入	2,800,000	2,825,000	25,000	1,675,000	1,150,000
④ 雑収入	100,000	225,111	125,111	181,500	43,611
⑤ 寄附金	10,000	3,700	△ 6,300	592,292	△ 588,592
経常収益計	25,614,800	27,263,485	1,648,685	25,958,457	1,305,028
(2)経常費用					
① 会報発行費	9,800,000	8,559,388	△ 1,240,612	5,029,940	3,529,448
② 行事費	7,250,000	4,925,964	△ 2,324,036	4,100,294	825,670
③ 管理費	15,598,000	14,903,876	△ 694,124	13,566,392	1,337,484
(人件費)	6,858,000	6,754,830	△ 103,170	6,307,383	447,447
予備費充当額		0			
(物件費)	8,740,000	8,149,046	△ 590,954	7,259,009	890,037
④ 減価償却費					
貯蔵品売却原価					
⑤ 貯蔵品廃棄損					
⑥ 予備費	600,000	0	△ 600,000	0	0
経常費用計	33,248,000	28,389,228	△ 4,858,772	22,696,626	5,692,602
当期経常増減額	△ 7,633,200	△ 1,125,743	6,507,457	3,261,831	△ 4,387,574
2 経常外増減の部					
(1)経常外収益	0	0	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,633,200	△ 1,125,743	6,507,457	3,261,831	△ 4,387,574
一般正味財産期首残高	79,679,847	79,679,847	0	76,418,016	3,261,831
一般正味財産期末残高	72,046,647	78,554,104	6,507,457	79,679,847	△ 1,125,743
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	72,046,647	78,554,104	6,507,457	79,679,847	△ 1,125,743

財産目録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	99,960,203	
現金手許有高	786	
普通預金銀行7行信金2行	75,615,450	
振替貯金	343,967	
定期預金信金2行地銀1行	24,000,000	
貯蔵品	115	
未収金	25,000	
流動資産合計		99,985,318
2 固定資産		
基本財産		
スーパー定期	25,000,000	
基本財産合計	25,000,000	
その他の固定資産		
備品（同窓会サロンテーブル設置工事他）	0	
その他の固定資産合計	0	
固定資産合計		25,000,000
資産合計		124,985,318
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	46,833	
終身会費前受金	4,625,000	
前受会費	255,000	
5年分前受会費	12,411,000	
準会員5年分前受会費	29,087,500	
預り金	5,881	
流動負債合計		46,431,214
負債合計		46,431,214
正味財産		78,554,104

財務諸表に対する注記

令和6年3月31日現在

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

備品の償却方法は、5年間均等償却である。

2. 基本財産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金引当金融資産	25,000,000	0	0	25,000,000
合計（基本金）	25,000,000	0	0	25,000,000

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

備 品	
取得価額	4,209,553
減価償却累計額	4,209,553
当期末残高	0

監 査 報 告 書

一般社団法人有恒会
代表理事 岡 本 直 之 殿

令和6年4月10日
大阪市住吉区杉本3-3-138
一般社団法人有恒会

監 事 荒 鹿 哲 一 ⑩

監 事 一 柳 茂 ⑩

監 事 小 川 泰 彦 ⑩

監 事 坪 田 聡 司 ⑩

監 事 今 野 陽 子 ⑩

私たちは、一般社団法人有恒会の令和5年8月1日から令和6年3月31日までの令和5年事業年度の会務の執行、並びに財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表の注記、財産目録について監査を行った。

監査の結果、会務の執行は、法令及び一般社団法人有恒会会則に従い、総会・評議員会及び役員会の決議に基づき誠実に執行されており、また上記の財務諸表は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準及び一般社団法人有恒会会則に従い、令和6年3月31日現在の財産の状態及び正味財産の増減を正しく示しているものと認める。

以 上

令和6年度 活動計画書

大阪公立大学が発足して3年目を迎え、市大、府大生は4年生を残すだけとなった。本部や各キャンパスでは新たな施設の建設が着々と進み、グローバルな「知の拠点」としての大きな飛躍に期待が高まるばかりとなっている。

有恒会は令和4年度に府大経済系の陵友会と統合し、昨年度は一般社団法人化を果たした。法に基づく団体として社会的信用力や透明性を高め、それに相応しい組織作りを進めることによって社会科学系学部を纏める同窓会としての基盤を確かなものにした。また、伝統ある同窓会として持てるパワーを活用し、同窓生への情報発信や懇親の場の提供を行い、大学や学生への支援活動を継続することによって、新大学のブランド力アップに一層の貢献をしていきたい。

昨年5月の新型コロナの5類移行により、2年半に亘ったコロナ禍から日常が戻り、同窓会も全国的に活動が再開されてコロナ禍前の状態に回復したと言える。その一方、諸物価の高騰やコロナ禍の反動もあって同窓会の運営経費が上昇するとともに、従来からの会員の減少という問題が顕在化し、大きな課題となりつつある。

今年度は10年先、20年先の有恒会の姿を見据えて、諸課題の解決により具体的に取り組みたいと考える。

以下、本年度の基本的な取り組みについて説明する。

1. 同窓生への支援

- (1) 学部同窓会の立場で同窓会活動の原点である懇親の場の提供や各会の発展・拡充への支援を行う。
- (2) 同窓会報誌「有恒」を発行し、ホームページと合わせて、同窓生にとってより有益で分かりやすい情報を発信し、同窓生相互が情報交換できる環境を整える。
- (3) 有恒会を構成する各会への支援・協力を継続する。

2. 組織運営の強化

- (1) 一般社団法人化をきっかけに、将来に向けて運営の安定化を図る。
- (2) 広報活動を活発に行うことで知名度とブランド向上に繋げる。
- (3) 2026年度からの導入を目指して終身会員制度を検討する。

3. 大学・学生への支援

- (1) 大学の方針とベクトルを合わせ、ブランド力向上に努める。
- (2) 情報連絡・業務支援等、大学との相互支援体制の連携強化を図る。
- (3) 学生への就職支援や卒業生との交流会を実施する。

各部会活動について

【総務財務部会関係】

1. 総務関係

- (1) 一般社団法人に移行したことに伴う諸規程の更新やガバナンス体制について整備を進める
- (2) 大阪公立大学と校友会等に対する協力と支援
 - ① 大学支援としては、大学が取り組む寄附募集活動に協力し、各種行事への参画及び表彰制度等への支援を行う。
 - ② 校友会を支える同窓会組織として積極的に協力する。
 - ③ 令和7年3月に活動を終える大阪市立大学全学同窓会のスムーズな業務終了に協力する。
五代像については有恒会にて引き取ることにする。
- (3) 会運営全体に関わる業務遂行
 - ① 定時社員総会を令和6年度は5月25日(土)に開催する。
 - ② 支部活動へのサポートを行う。
 - ③ 商友会、経友会など有力なステークホルダーの活動に協力する。

- (4) 会員管理システムの整備と利用促進
 - ① 会員管理システムの個人情報データ整備を推進する。
 - ② クラブ・サークルOBOG会、同期会等の関連情報の追加登録に努める。
 - (5) 大学、教育後援会等と連携
 - ① 渉外企画課と定期的に会合を持ち、情報交換と相互協力を図る。
 - ② ホームcomingデー、ふたば祭、ボート祭など大学主催行事に協力する。
 - (6) 学生支援
 - ① 講演会開催や就職支援等の各種支援事業を行う。
 - ② 大学等の表彰制度に協力する。
 - (7) 終身会費制度の検討（財務関係に記載）
2. 財務関係
- (1) 終身会員制度の検討

正会員の会費収入減と若手卒業生の会費納入率の低さという状況を打開するため、入学時に終身会費を徴収する終身会員制度の導入を検討する。
 - (2) 新入生の加入促進

新大学発足後新入生の会費納入率が大幅に向上したが、2025年度は入学手続きのWeb化が予定されているためその対応を確実に行って納入率の維持、向上に努める。
 - (3) あらゆる機会を捉えて会費の納入を働きかける
 - ① 各種イベント参加者、会報誌への投稿者、その他同窓会活動に関係する会員
 - ② 支部総会
 - ③ ゼミやクラブ・サークルのOBOG会
 - ④ 寄附・遺贈の促進
 - ⑤ 他同窓会への費用負担請求などの厳格化
 - (4) 経費削減対策
 - ① 日常経費の見直しと削減
 - ② 部会活動の効率化
 - ③ 稼働率の悪いレンタル機器の見直し
 - ④ 経費支出ごとの費用対効果の検証

【事業部会関係】

会員相互の親睦と現役学生の支援の二つの柱で活動を推進する。

- 1. 会員相互の親睦と交流
 - (1) ビジネス交流会
 - ① 主に現役ビジネスパーソンを対象にした交流会
 - ② 7月と令和7年1月に対面で開催予定
 - (2) WPC女性部会への支援

会員相互の交流の緊密化を基本に活動を推進する。5月に総会とイベント、11月に交流会を開催予定。有恒会としてサポートを行う。
- 2. 学生支援

公務員、教員、民間企業勤務の卒業生と現役学生との交流を進め、卒業生間の交流を深めるとともに学内関係部署と連携し、留学生も含めた現役学生のキャリア支援に協力する。
全学生を対象にする校友会事業についても有恒会として全面的に協力する。

 - (1) 公務員OBOGと現役学生との交流会（7月頃開催予定）

近畿圏内の国家・地方公務員のOBOGの参加により、幅広い公務職種の状況把握を通じて現役学生の就職活動支援を行う。
 - (2) 教員OBOGと現役学生との交流会（8月または12月開催予定）

中高等学校教員のOBOGの参加により、教職の持つ意味合いを学生と共有し、教職への進路選択の支援を行う。
 - (3) 民間企業勤務の卒業生と現役学生との交流会（11月開催予定）

幅広い経済領域の民間企業勤務の卒業生の参加により、職業選択に迷う学生のキャリア支援を行う。また、スタートアップなど起業化支援の分野も今後探る。

【広報会員部会関係】

1. 広報（Webメディア）関係

ホームページ（HP）を軸に情報発信力を強化し有恒会への認知度向上、理解促進を図り、繰り返し閲覧するリピーターの増大を目指す。

- (1) SEO(検索エンジン最適化)対策として検索キーワードを想定し、ページ毎にキーワードを散りばめたコンテンツを作成する。
- (2) ページ数を増やし、コンテンツの量と質を充実させ、適度な頻度で更新を行う。
- (3) 各ページの記述を見直すと同時に画像・動画を活用し、閲覧者が有恒会に対する理解を深める構成にする。
- (4) Xやインスタグラム、フェイスブック、LINEなどのSNSを活用してHPへの誘導を行い、アクセス回数の増加を目指す。
- (5) 的確なアクセス解析により、PDCAを回しながらHPの品質向上に取り組む。

2. 会員関係

- (1) 会員のメリットを明確にし、会員であることの満足度をあげる。
- (2) 有恒会の活動を広く知ってもらい会費納入を訴求するツールを作成し配布する。
- (3) 会員増のためホームページ（HP）に入会案内のページを設置する。
- (4) HPに有恒会や支部の行事・催事の告知を掲載して参加促進を図る。

【有恒編集委員会】

1. 大阪公立大学開学3年目を迎え、同窓会会報誌「有恒」は市大、府大の同窓生、在學生、大学と相互連携を図り、同窓生同士の交流と会費納入、会員増強、さらには在學生、大学への支援を高めていくための情報発信の柱の一つとして、今後も有恒会のみならず全学の同窓会、大学のみならず全学部の動向などを幅広く掲載、同窓生、在學生のニーズに応えられる紙面を目指す。
2. 会員が減少傾向にあること、多メディア時代の到来でSNSが普及、情報発信ツールが多様化しているなどの現状を踏まえ、持続可能な会報誌発行を目指すために制作経費の削減、他学部同窓会への支援強化、大学への協力要請などに取り組み、コンパクトで訴求力のある会報誌を追求する。
3. 「有恒27号」の巻頭特集は来年4月に開催される大阪・関西万博に大阪公立大学が産学連携では日本初となるパビリオンの出展を座談会で詳細に掲載。「世界に通じるプロフェッサー」や「社長さんご紹介」「OB・OG紹介」、7人の卒業生の「大学の思い出」のほか、理学部・生活科学部同窓会、陵友会通信など1ページで掲載、コロナ禍明けもあって16の支部から寄せられた「支部だより」など、多種多様な記事をコンパクトに収め、一覧性の効果を高め波及力を強化する。
4. 制作経費削減については、「有恒27号」から会報誌の体裁・紙質、字体の大きさ、減ページを図り、その効果が表れるものと思われる。
5. 今年10月に発行する「有恒28号」においても更なる改善を図っていく。

令和6年度 一般社団法人有恒会正味財産増減計算書予算案

前年実績bは一般社団法人有恒会の令和5年度（令和5年8月1日から令和6年3月31日まで）の決算額となっております。

(単位：円)

科 目	予算額a	前年実績b	差異 (a-b)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①会費収入	23,065,000	11,085,000	11,980,000	
②利息・配当金	4,800	1,137	3,663	
③広告料収入	2,980,000	1,405,000	1,575,000	
④雑収入	100,000	225,110	△ 125,110	
⑤寄附金	10,000	3,700	6,300	
経常収益計	26,159,800	12,719,947	13,439,853	
(2) 経常費用				
①会報発行費	7,836,000	4,775,727	3,060,273	
②行事費	4,450,000	4,093,316	356,684	
③管理費	14,990,000	8,476,788	6,513,212	
(人件費)	6,660,000	3,978,758	2,681,242	
予備費充当額				
(物件費)	8,330,000	4,498,030	3,831,970	
④減価償却費	180,000	0	180,000	
⑤予備費	600,000		600,000	
経常費用計	28,056,000	17,345,831	10,710,169	
当期経常増減額	△ 1,896,200	△ 4,625,884	2,729,684	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,896,200	△ 4,625,884	2,729,684	
一般正味財産期首残高	78,554,104	83,179,988	△ 4,625,884	
一般正味財産期末残高	76,657,904	78,554,104	△ 1,896,200	
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	
III 正味財産期末残高	76,657,904	78,554,104	△ 1,896,200	

ご参考

令和6年度 一般社団法人有恒会正味財産増減計算書予算案

参考資料の「通期合計b」は大阪公立大学有恒会の令和5年4月1日から令和5年7月31日までの実績及び一般社団法人有恒会の令和5年度実績の合算数値です。

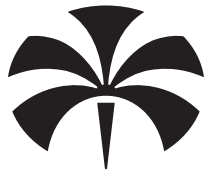
(単位：円)

科 目	予算額a	通期合計b	差異 (a-b)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①会費収入	23,065,000	24,205,000	△ 1,140,000	
②利息・配当金	4,800	4,674	126	
③広告料収入	2,980,000	2,825,000	155,000	
④雑収入	100,000	225,111	△ 125,111	
⑤寄附金	10,000	3,700	6,300	
経常収益計	26,159,800	27,263,485	△ 1,103,685	
(2) 経常費用				
①会報発行費	7,836,000	8,559,388	△ 723,388	
②行事費	4,450,000	4,925,964	△ 475,964	
③管理費	14,990,000	14,903,876	86,124	
(人件費)	6,660,000	6,754,830	△ 94,830	
予備費充当額		0		
(物件費)	8,330,000	8,149,046	180,954	
④減価償却費	180,000	0	180,000	
⑤予備費	600,000		600,000	
経常費用計	28,056,000	28,389,228	△ 333,228	
当期経常増減額	△ 1,896,200	△ 1,125,743	△ 770,457	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,896,200	△ 1,125,743	△ 770,457	
一般正味財産期首残高	78,554,104	79,679,847	△ 1,125,743	
一般正味財産期末残高	76,657,904	78,554,104	△ 1,896,200	
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	
III 正味財産期末残高	76,657,904	78,554,104	△ 1,896,200	

役員の一部改選の件

小林俊介副理事長（法昭44卒）が辞任する。

亀井信吾顧問（商昭52卒）が理事に就任する。任期は令和7年度定時総会までの1年とする。



大阪公立大学